

部局名	教育委員会	所属名	青少年センター	所属長名	海野 鉄多郎	電話	483-2842
-----	-------	-----	---------	------	--------	----	----------

## 1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業				短縮コード	経常	4069	臨時	4070	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市青少年センター設置条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
<p>青少年の非行防止とその健全育成を図るために、八千代市青少年センター設置条例が昭和53年に制定され、八千代市青少年センター（以下「青少年センター」という）が設置された。青少年センターの適正かつ円滑な運営を諮り、活動に必要な施策を協議決定するため、八千代市青少年センター運営協議会（以下「協議会」という）を設置し、地域等との連携を図りながら青少年の補導活動を推進するために、八千代市青少年補導委員（以下「補導委員」という）を設置している。また条例第3条に関わる業務を円滑に行うため八千代市学校警察連絡委員会事務局として活動をしている。青少年センターは、これらの協議会等の連携を通じて、青少年の非行防止・健全育成を諮るため街頭補導活動、相談業務の充実・情報の共有化、健全育成に関わる広報活動等について諸活動を計画・運営している。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
<p>昨年度の青少年センターでの街頭補導活動において、前年度と比較して補導少年数は増加傾向にあるが、行為別状況としては、自転車の二人乗り等比較的軽度な内容のものが多かった。しかしながら、警察の補導少年の行為別状況は、喫煙や深夜徘徊が非常に多く、補導少年の行為内容に差が生じた。近年、市内には深夜営業している施設が増加し、青少年が深夜徘徊しやすい場所も増えてきている。こうした点から、青少年センターとして今後、夜間帯の街頭補導活動がより必要となってくる。又、青少年非行や青少年が関わる事件を未然に防ぐためにも、より一層各関係機関との連携を図っていく必要がある。学校と警察等関係機関が連携を深めることにより、青少年犯罪に関わる情報の共有化が推進でき、非行防止に多くの関係機関や市民の協力を得ながら非行防止を推進することができる。又、地域に根ざす補導委員の街頭補導活動の推進は、地域の青少年を地域で育てる意識高揚にも繋がり、非行防止につながることはもとより、市民力向上にも大きく貢献するものと期待される。</p>					大項目（節）	03	青少年健全育成					
					中項目	01	青少年健全育成					
					小項目（施策）	02	青少年健全育成事業の推進					
					細項目	04	非行防止活動の推進					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

## 2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	青少年						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	<p>※平成19年度に実際に行ったこと： 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察の連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催</p> <p>※平成20年度に計画していること： 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察の連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催</p>						
意図 （何を狙っているのか）	○非行防止の発見・指導○青少年補導委員の資質の向上、補導委員相互の連携を図る。○学校と警察の連携を図り、情報交換を行う。○非行防止・事故防止や善行の奨励等青少年の健全育成について周知する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画
対象指標	指標1	青少年補導数	人	105	105	199	200
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	23	23	25	25
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	44	45	50	58
活動指標	指標1	街頭補導活動	日	278	300	327	350
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	23	23	25	25
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	44	45	50	58
成果指標	指標1	街頭補導活動	日	278	300	327	350
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	20	20	25	25
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	44	45	50	58
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業		所属名	青少年センター	
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	250	250	250	250
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,459	3,589	2,968	1,997
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		印刷製本費114千円 報償費314千円 補導委員連絡協議会149千円		印刷製本費114千円 報償費333千円 備品購入費1,737千円		印刷製本費114千円 報償費323千円 備品購入費1,722千円	
印刷製本費114千円 報償費690千円 補導委員連絡協議会活動費250千円							
人件費 (B)		千円	35,454.1	35,344.3	35,679.2	36,096.7	
トータルコスト (A)+(B)		千円	37,163.1	39,183.3	38,897.2	38,343.7	

### 3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	青少年健全育成事業の推進、非行防止活動の推進と一致している。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	それぞれの活動を通じて、青少年の非行防止に結びついているが、完全に防止するというのは難しいのが現状である。更なる非行防止活動を推進させるために今後も継続が必要となってくる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	青少年補導委員については、地域のボランティアとして活動し、長年、各地域の青少年の現状を把握している方も多数いる。学校警察連絡委員会については、各学校と警察を中心に活動しているので民営化はなじまない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」「意図」で、現状の事業の目的を現せる。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し	2			実施主体 (所管部署)		
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input checked="" type="checkbox"/> ない					

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業			所属名	青少年センター																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		青少年の非行防止活動を行っている事業であり、今後も継続が必要である。街頭補導活動時の補導少年数は増加傾向にある。又、八千代市内において大型店舗やインターネットカフェ等青少年が夜間に徘徊しやすい環境が増え続けている。そのため、今後は警察と協力しながら夜間帯のパトロールを行っていく必要がある。青少年非行や青少年犯罪に関する情報については、より迅速に的確に把握することが必要となるため、今まで以上に学校や警察等関係機関との情報交換の場を増やし様々な情報を把握していくことが、今後の青少年非行や青少年犯罪を未然に防ぐ手段として有効になる。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>				経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	成果については上記の方法をとりながら、向上させる。	
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし	

所属長コメント	近年、市域においては青少年が事件に巻き込まれる事案が少なからず発生し、その形態も多岐にわたっている。こうした少年非行への対応には未然に防ぐことが何よりも重要な課題となる。学校・警察等の関係諸機関との連携はもとより、地域や家庭との連携を一層深めていくことも必要となっていく。そのためには情報を的確に把握することや関係諸機関と情報の共有化をより一層密にしていき、行動連携を深めていくことが必要である。こうした観点から平成19年度の実態を踏まえた平成20年度の事業推進の具体的な活動計画は妥当であると考えている。		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続		
		担当課の評価のとおり、青少年の非行防止のため推進すべき。	